



代表
松田真奈美さん

五線譜でなくても音楽はできる！ 楽器は楽しい！

フィギュアノートとは誰でも簡単に楽器の演奏ができるフィンランド生まれの楽譜です。

はぴみゅーずはフィギュアノートに心を動かされ、「音楽を奏でる喜び、Happyをもっともっとたくさんの人に届けたい！」という思いから、2015年に立ち上げられました。



みんなで合奏。2022年12月17日(土) クリスマスコンサート

フィンランド発祥のフィギュアノート、知らない人もまだまだたくさんいると思います。フィギュアノートについて代表の松田真奈美さんに詳しくお話いただきました。特徴として、楽器に専用のシールを貼ります。音名(ドレミ)を色で、音の高さと長さを形(○や△、□)で表しています。子ども達それぞれの個性に合わせた音楽の学習が可能です。ピアノの鍵盤にシールを貼って練習するというのは、小学校の音楽の授業でやったことかもしれません。フィギュアノートの場合は、五線譜や文字がわからなくても楽器を演奏することができ、今では世界20か国以上に導入されています。

「学ぶための音楽」に焦点が行き、「楽しむためのもの」という音楽の本質が忘れられがちですが、松田さんは「ディスレクシア※などの発達障がいの子ども



色や形のシールを目印に、ふれて、遊んでね！

や内気で友達作りが苦手な子どもなど、障がいのあるなしに関係なく全員で楽しむことができる」と語ります。

はぴみゅーずでは、子どもから大人まで、フィギュアノートを使って色々な楽器を練習しています。

同じ色のシールの部分に指を当てるだけ、という簡単な仕組みのフィギュアノートは多くの人にとってわかりやすいものです。そのシールの色にも理由があり、原色と無彩色を用いることで、見分けやすくしているそうです。また五線譜を使う人と情報共有できることも考えられているので、一緒に演奏を楽しんだり、最初はフィギュアノートを使って、成長に従って五線譜に移行するという使い方もできるそうです。コード(和音)を念



楽器がはじめてでも、楽譜が読めなくてもだいじょうぶ！

頭に置いた色の使い方もされています。「できると嬉しいし、嬉しいともっとやりたくって、場の雰囲気はどんどん前向きになっていくんです。それは、お子さんから大人まで、みんなに共通しています」と松田さんは言います。「五線譜でなくても音楽はできる！楽器は楽しい！」一番伝えたいこととして、そう



指導する松田さん(2022年12月17日(土) クリスマスコンサート)

笑顔で話してくれました。(取材記事：こまえくぼ広報部会 有本)

※発達性ディスレクシア(発達性読み書き障がい)

■お問い合わせ先
フィギュアノート普及会
HappyMuse(はぴみゅーず)
090-1859-0070
mail@happymuse.net



HappyMuse(はぴみゅーず)
ホームページ

- 設立年月：2016年4月
- 活動目的：フィンランドで開発された「フィギュアノート」絵音符を日本の教育や福祉に役立てることを目的に普及・研究開発活動を行う
- 活動内容：小学音楽教科書フィギュアノート版出版、ポップス・クラシックなどの楽譜やグッズの制作頒布、指導者研修、体験教室など。狛江ではアンサンブルクラブ「ポップコーン」を実践研究として行っている
- 活動場所：演奏活動が可能な市内の公共施設がオンライン
- 活動日時：第1・3土曜日午前